

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

事業所名: グループホームわがや

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	1.出かける、買物、お祭り、外食、馴染みの理容店に行く 2.地域の方々と普通のお付き合いをする。気軽に立ち寄っていただける開放的なグループホーム 3.地域への貢献、地域行事への参加(お祭り、納涼祭、防災訓練など)
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	継続
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○	継続
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	玄関には鍵をかけず、ご近所の方が通りかかった際には、気軽に声をかけていただけるような環境作りに心がける。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	継続

事業所名: グループホームわがや

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	自治会組長をし、率先的に地域活動を担っている行事へは積極的に参加している 地域の住民で構成されている自主的学習会の班会を行い、質問や相談にのっている	○	継続
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全職員で実施し、職場会議においてその意義を話し合い、今後の介護の学びとしている	○	前回指摘いただいたリビング拡大については建築法により不可能との回答あったためスペースの有効活用により改善していく 入り口をわかりやすくするための看板等設置については予算計上、設置予定となっている
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族同士の同じ思いを共有することでそれぞれの家族のつながりが少しずつ強くなってきている	○	運営推進会議の中だけでは、地域の方々も参加しているため、本音を出しにくいとの意見があったので、家族会の発足を検討する。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要時、実情を伝え助言を得ている	○	継続
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在は利用する方がいないため活用していない	○	今後は必要に応じて制度の学習会を行なっていく予定
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職場で学習会をしたり、協力医療機関のMSWの事例により学びを得ている	○	継続

事業所名：グループホームわがや

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項説明書、利用契約書、運営規定、看取り指針、利用料金、緊急連絡等、一つ一つ説明し納得を得、契約に至っている	○	継続
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	直接口頭で受けたときは記録し、改善策を職員と話し合い家族へ連絡している 苦情申し立てについては第三者機関があることは契約時の説明とともに連絡先を事業所入り口、施設入り口の2箇所に設けている	○	毎月のモニタリングをしっかりと行い、利用者の何気ない言葉や、様子から、意見、不満、苦情を受け止めるよう努力する。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の変化あるときは必ず家族へ連絡している また、月一回受診時での面会においても日常の様子を伝えている 暑中見舞い、年賀状は写真つきにて送付している 金銭は預かっていない	○	継続
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や面会時など、家族の意見、不満を聞きやすい雰囲気作りを心がけ運営に反映させている。	○	社会福祉法人等指導監査から、「意見・要望ノート」を作り、ご家族からの意見や要望を真摯に受け止め、サービスの向上に努める。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月職場会議を行い改善部分は話し合い解決している	○	継続
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日中は早番、遅番で対応しているが、それ以外では母体施設から協力を得ている	○	6人定員でこれ以上の人員配置は困難
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や利殖が重ならないよう努力している。	○	継続

事業所名: グループホームわがや

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内での研修計画に沿い、段階的な研修、勉強会を行なっている 施設外研修、勉強会へ積極的に参加している 時間外においても自己学習のため参加している	○	継続
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会へ加入し、定期的な研修会に参加 意見交換などの交流をはかっている 他施設への研修、見学をし、学びの場としている	○	継続
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	その日の不安や疑問、思っていることをできるだけ聞くようにしている 現場から離れ自分の時間を持つ 休憩時間を確保する	○	継続
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	モニタリングや事例検討会から、ひとつひとつのケアが、何故成功したか、何故うまくいかなかったかを確認し合う中で、自信を持ってケアに当れるよう、相互研鑽に務めている。	○	継続
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	環境に慣れていただけるよう本人と話をし、思いを聞く機会を意識的に持つ センター方式を活用、情報収集のため生活暦や現状を職員がまあ駆使、その方の意思に添うような働きかけをしている	○	継続
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族が一番何に困って不安なのかを傾聴する 今後どのようにしたいのか家族を移行を伺っている 要望をききながらわがやの支援方法を説明している	○	継続

事業所名: グループホームわがや

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の思い、要求、困っていることから受け入れる必要に応じて専門医の受診をすすめることもある。	○	継続
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなり入居するのではなく、デイサービス、ショートステイなどの利用、またはお試し期間として慣れてからの入居となるようにしている	○	継続
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活歴を知った上で本人の得意なこと、できることを引き出し、職員が本人から学びを乞うことによりお互いを支えあうようにしている	○	継続
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時に本人の情報提供することにより、現状を共有し、今後のケアにつながる話をしている	○	継続
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人へは日常会話の中で家族の話を提供し、家族は本人の活躍の様子を話や写真などで提供している	○	継続
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容院やお寺参りなど、継続的にできるよう家族と連携をとったりできない部分は支援している	○	継続
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う仲間同士で支えあえるよう支援し、生活しやすい関係が保てるよう必要に応じて職員が媒介になりながら支援している	○	継続

事業所名: グループホームわがや

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他施設へ移動した方は、その施設の相談員などから情報を得ている	○	継続
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を活用し、本人の発する言葉を記録に残している本人の全体像を把握し、職員全体で情報収集をしている	○	継続
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員と家族との信頼関係を築いていく過程で、徐々に生活歴等の情報を得ている	○	継続
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	きっかけ作りにより、本人のできること、できないことを見極め、能力を理解するようにしている	○	継続
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を活用し、家族の思いや本人の言葉、介護者の気付き、家族の気づきを踏まえて計画作成している。 本人の言葉を一番重要視している。	○	継続
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のモニタリング実施の中で、見直し、達成項目、サービス変化あれば各関係者、機関と話し合いながら随時検討、見直ししている	○	継続

事業所名: グループホームわがや

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の支援の中で、状況や変化を把握し、臨機応変にケアに生かしている 必要があればケア変更、見直しをしている	○	継続
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者のそのときの気持ちに合った場所(デイサービス、ショートステイ、よりあい)の利用をし、対応している。 職員の異動は少なくなじみの関係は保たれている。 催し物も合同で企画したり、参加している。	○	継続
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	傾聴ボランティアの受け入れを行い、支援している。地域の防災訓練等に参加している。	○	継続
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している			
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	昔からのかかりつけ医を受診している 加齢に伴い受診できない場合は家族の意向により協力医療機関より往診を受けている	○	継続

事業所名：グループホームわがや

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	嘱託医、往診医師へ相談したり、協力医療機関の専門医に、必要時相談している。	○	継続
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者、施設長が看護師、保健師のため、健康管理はその都度行なっている	○	継続
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	今年度、利用者の入院はない。入院した場合には、できるだけ早期に退院できるよう、日頃から連携に務める。	○	継続
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時、ケアプランの説明時において、終末期のあり方について、家族や本人の希望の受け入れを行なっている	○	過去の事例では行ってきたが、今後も事例があれば、ターミナルケアにおいては家族との面談、合同カンファレンスを行ったり、担当医とともに常時情報交換していきたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居期間も3年以上になり、年令も90代の方については、徐々に身体機能が低下してきている。ご家族は、このまま週末までのご利用を希望されているので、ご家族の希望を聞きながら、できるだけ、普通の暮らしが送れるよう、支援している。	○	過去の事例では、ターミナル等におけるケアについて勉強会を重ね、職員とかかりつけ医、家族との連絡を密にしてきたので、ターミナルの段階ごとに、家族の意向に寄り添っていきたい。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	馴染みの物、家族の写真など自室に置くようにした	○	継続

事業所名: グループホームわがや

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	恥をかかせないことを理念にケアをしている 他の入居者さんにトイレに行くことなど知られないための配慮としてトイレを「1番」と隠語を使ったり、耳元でさりげなく言うようにしている	○ 継続
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	要望を汲み取る努力として、職員は五感をフルに活用したり、入居者さんの視線の先を注意深く見るようにしている	○ 継続
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調や気候により、入居者さんの希望などを伺う	○ 天候がよければ外出、広告のチラシに興味深いものがあれば買物など、その日の様子で支援している
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	整容やパジャマの更衣により、起床時には、洋服選びを支援して、「朝」という認識をもってもらう。馴染みの美容院に行くことにより笑顔が増したりしている。外出時には、外出用の服に着替えたり、お化粧をしている。	○ 継続
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	家事が得意な方には積極的に参加して頂き、実力を発揮されている	○ 継続
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒タバコを好む方は現在いない おやつなど好みの物は時間、量などに配慮し提供している	○ 継続

事業所名：グループホームわがや

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を参考にし、時間等を把握、排泄前の誘導等を心がけ、それにより日中は綿パンツ、夜はリハビリパンツと状況にあわせて対応している	○	継続
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	個人にあった声掛けや時間帯を利用することでスムーズな入浴を楽しまれている 拒否が強い方は集団の力を利用(入居者同士の声掛け、入浴誘導場面を見るなど)し、入浴している	○	継続
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼寝などはご本人の自由にしていただいているが、長時間になったり居室に入りきりにならないよう配慮している	○	継続
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の担える役割を見つけ、行なうことで生きがいや自信につながっている 会牛津企画、買物などで気分転換をはかっている	○	継続
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり金はないが、本人の安心の為、少量の金額を持っている。買物の際、好みのものを買えるよう支援している。買うものはパン菓子類などで、高額な物購入希望されたさいは家族に連絡をとっている	○	継続
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の散歩、買物、希望があるときに支援している	○	継続
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	さくらんぼ狩り、美術館など、イルミネーションなどその季節に合わせて計画をたて、支援している	○	継続

事業所名: グループホームわがや

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があればその都度対応している。手紙、電話など、その都度本人の希望にあわせて支援している	○	継続
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	気軽に訪問できるよう支援している 時には愛犬を連れてこられたりすることもある	○	継続
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職場会議にて勉強会を行い、確認している 研修会にも参加している	○	継続
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日常鍵をかけないケアをしている	○	継続
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	リビング狭い為、見渡すことができる 職員との声掛けにより所在確認している 物音により設置の所在確認	○	継続
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	入居者が開けやすいところに収納してある刃物類や目に付くところにおいてある洗剤は使用時以外は所定の場所に保管することで危険を防いでいる	○	継続
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアル、学習会、実践講習により学んでいる 些細なことでもヒヤリハット記入することで未然に防ぎ大きな事故にならないようにしている	○	継続

事業所名：グループホームわがや

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	BLSの講習も全員で受け、今後も定期的開催予定	○	継続
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練(7月夜間・9月日中)と緊急連絡網訓練を行なっている。地域の人々には、日頃から協力を得られるよう関係作りに心がけている。	○	継続
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ケアプランの説明、ひやりはっと、インシデントがあった場合には家族へ必ず連絡、説明をしている	○	継続
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人一人の普段の様子を全員で共有し、いつもと違うときには管理者、看護師へ連絡し、必要に応じて往診の段取り設定、受診をすすめる	○	継続
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員で薬の説明書を必ず読み、情報の共有をはかっている。受診時にはかかりつけ医に書面にて情報提供を行なっている。服薬は、必ず、複数で、超えだし確認を行なっている。	○	継続
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	乳製品、水分摂取、野菜摂取、適度な運動の働きかけ 自家製ヨーグルト提供	○	継続
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケア誘導、できる部分をしていただいた後に介助行なっている 夜間義歯預かり、洗浄を毎日実施	○	継続

事業所名: グループホームわがや

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	既往歴、現病、体型を考慮したうえで提供している 食事摂取量、水分摂取量の管理が必要な方には支援している	○	時々、管理栄養士にチェックしてもらい、助言を得る。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル、学習会を重ねている 対処方法も統一している 常時清掃、手洗い、うがい徹底	○	継続
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアルに添い、洗い、保管を徹底している 又、夜勤者による食器、調理用具等の除菌を必ず行なっている 食材の保存期間チェック行なっている	○	継続
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りなど、家庭的な雰囲気ができるよう花、芝生などを植えている 出入りのしやすさを考えてスロープの設置をしている	○	入り口がわかりやすいように見やすい看板を設置予定
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が落ち着いて暮らせるように、足音には注意している 光の調節はカーテンで対応している	○	継続
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	好きなどきに好きな場所(個人の部屋、テラスなど)で過ごせるように支援している	○	継続

事業所名: グループホームわがや

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家よりなじみのものをもちこんでいる 入居者さんの認知症の状態にあわせ持ち込むものを家族と相談して決めている	○	継続
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	冷暖房の設定温度は決めており、夏は28℃、冬は20℃、換気を随時行っている 冷暖房機具、換気扇の掃除も随時行なっている	○	継続
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の生活動作にあわせた家具の配置 椅子やベッド配置の工夫	○	継続
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	それぞれの部屋の入り口や間取り、壁紙、照明などがことなるため入居者さんが認識できている トイレ入り口に「お手洗い」と表示、認識しやすいようにしている	○	継続
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	洗濯干し、他の職員や近所の子供たち、出入りの関係者などとのコミュニケーションの場となっている 日向ぼっこの場所として認識し、利用されている	○	継続

事業所名：グループホームわがや

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ケアの理念：「待つ」「見守る」「恥をかかせない」「ゆっくり」「個々に寄り添う」「やりすぎの介護をしない」
- 日中は、施錠せず、入居者さんが出かけたときには必ず職員も寄り添うようにしています。
- 夜勤者以外、全員参加の職場会議を毎月行ない、利用者全員のモニタリング、インシデントの検討、業務改善、研修の伝達時々の課題の学習会等を行っています。 ○ 施設全体の研修委員会主催の学習会、事例検討会、及び、外部で行なわれる研修会等に積極的に参加しています。
- 医療機関が母体なため、ご家族も安心です。